

# 令和4年度地域運動部活動推進事業

## 休日の部活動の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書

自治体名	福岡県教育委員会 担当課：教育庁教育振興部体育スポーツ健康課	電話番号：092-643-3923
------	-----------------------------------	-------------------

### 1. 事業の概要について

#### 1.1 基本情報（令和4年度4月末時点）

① 中学校数	189校	② 生徒数	71,413人	③ 部活動数	3,455部活
--------	------	-------	---------	--------	---------

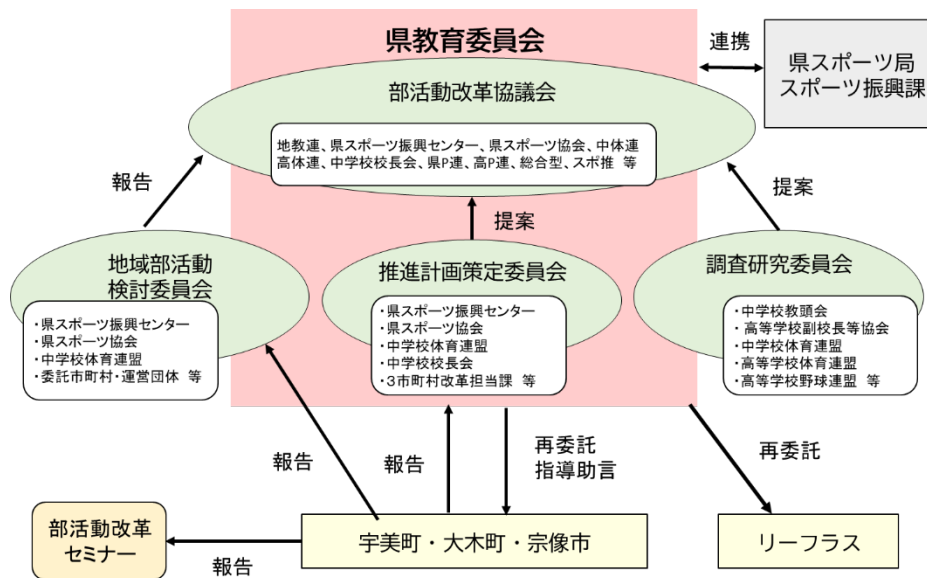
#### 1.2 地域における現状・課題

- ・ 地域移行に係る方向性が定まらず、明確な取組やスケジュールが決定していない。そのため、各市町村と情報共有ができておらず、部活動改革に向けた意識の差が大きい。
- ・ スポーツ振興センターにて指導者を登録するスポーツリーダーバンクを設置しているものの、登録者の更新がほとんどない。
- ・ 各市町村においては、運営団体、実施主体の選定に苦慮している。

#### 1.3 実践研究における取組目標

- ① 福岡県としての部活動改革の方向性及びスケジュールの決定
- ② 福岡県公立中学校及び各市町村における部活動に関する実態把握
- ③ 福岡県における地域クラブ活動の構築に向けたガイドラインの作成

#### 1.4 実践研究の運営体制



### 2. 地域連携や地域移行の推進に向けた体制整備の取組について

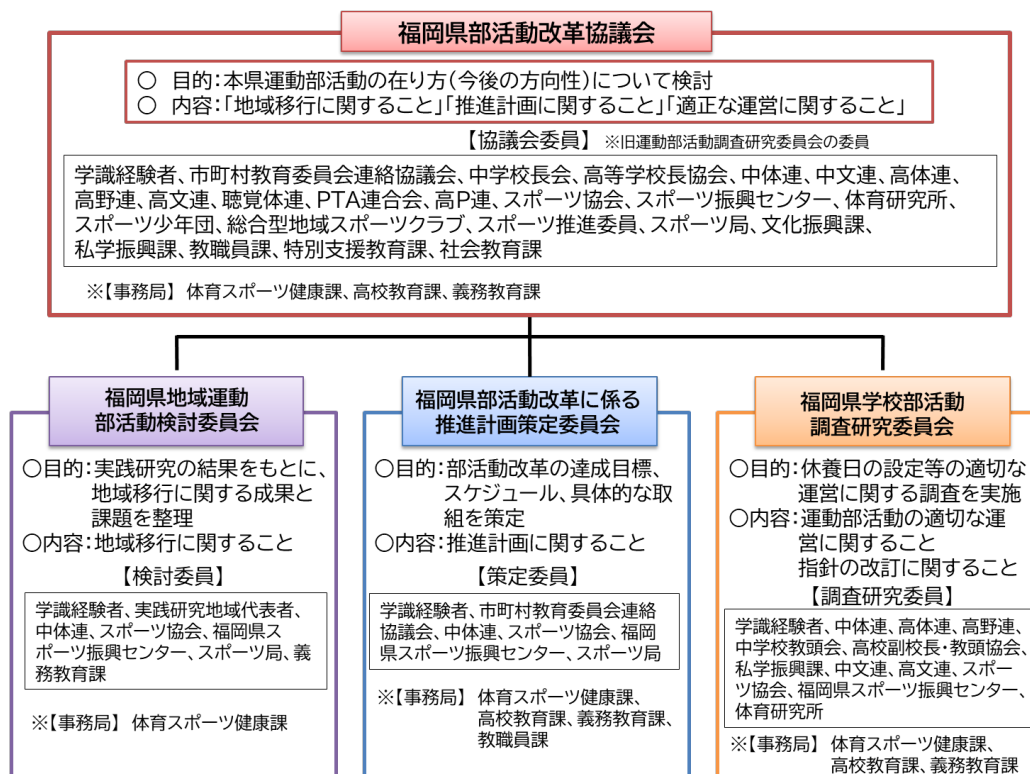
#### 1 部活動改革セミナーの開催

生徒にとって望ましいスポーツ環境の構築と教師の働き方改革のために各市町村における部活動改革に対する意識を醸成する。

<p>日時：令和4年11月2日（水） 場所：ももちパレス 大ホール 対象：市町村（学校組合）教育委員会・スポーツ主管課、各教育事務所部活動担当者・スポーツ担当者、公立中学校等校長、関係スポーツ団体 等 内容：講話「部活動改革に係る国の動向について」 説明「実態調査報告及び部活動改革の方向性について」 講演「教育のあり方を変えるために『部活動』を改革する」</p>	<p>日時：令和5年2月21日（火） 場所：ももちパレス 大ホール 対象：市町村（学校組合）教育委員会・スポーツ主管課、各教育事務所部活動担当者・スポーツ担当者、公立中学校等校長、関係スポーツ団体 等 内容：実践報告「福岡県における部活動の地域移行の実際」 説明「部活動の地域移行に向けた関係・支援団体の取組について」 講演「部活動の地域移行の道筋と可能性を探る」</p>
--	--

## 2 部活動改革に向けた各種委員会の設置

部活動改革に向けた委員会を下図のように組織し、それぞれの目的に応じてそれぞれ数回の委員会を設置した。



## 3 市町村ヒアリング

県内58市町村教育委員会の学校教育主管課及びスポーツ所管課に対し、各市町村の運動部活動の現状や課題について把握するとともに、運動部活動改革に係る国の動向等の共有を図るため、市町村ヒアリングを実施した。

期日：令和4年7月中旬から8月上旬

場所：各市町村教育委員会

内容：部活動の現状（学校数、部活動数、参加生徒数等）、地域のクラブの現状、部活動指導員及び外部指導者の任用状況、部活動における課題等

## 4 抽出により意識調査

県内の部活動に関する意識の現状を把握するため、抽出による意識調査を実施した。

期日：令和4年6月10日（金）～6月26日（日）

対象：生徒、保護者、保護者（5, 6年生）、教職員

## 5 福岡県における地域クラブ活動の構築のためのガイドラインを作成し、各市町村教育委員会、スポーツ・文化芸術所管課、県内公立中学校、関係団体等に配布した。

作成部数 1,000部

配布先 各教育事務所、市町村教育委員会学校教育主管課、地域スポーツ・文化芸術所管課、県内公立中学校、関係団体等

## 4. 実践研究の成果と今後の課題

### 4.1 実践研究での検証から得た成果

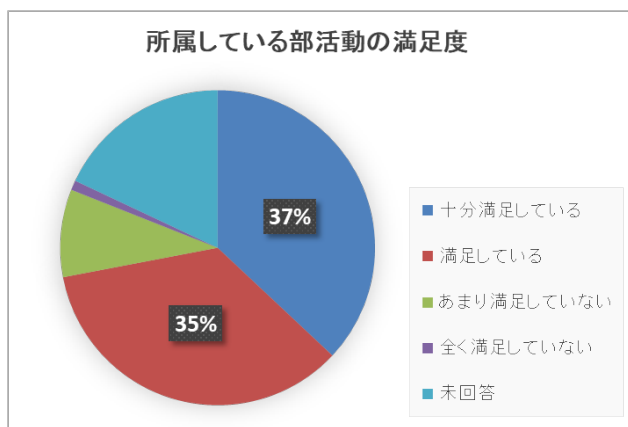
#### ① 福岡県としての部活動改革の方向性及びスケジュールの決定

福岡県における部活動改革のテーマを「生徒にとって望ましい『地域クラブ活動』の構築」と決定した。まずは、令和5年度から令和7年度までに、休日の学校部活動について段階的に地域移行していくことを基本とする。また、平日の地域移行は、休日とともにできるところから取り組むことを推進することとする。令和8年度以降については、改革推進期間における進捗状況を検証し、令和7年度中に改めて県としての方向性を示すとともに、更なる改革を推進する。



#### ② 福岡県公立中学校及び各市町村における部活動に関する実態把握

##### 【生徒に関する調査】



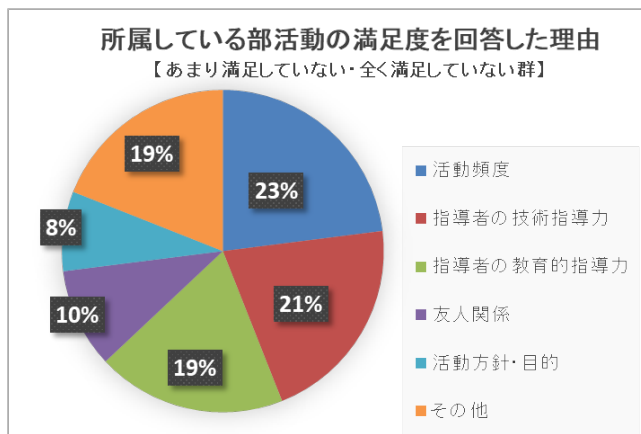
##### ■ 市町村ヒアリング(部員について)

- ・ 人数が揃わない部活の存在(約7割)  
※特にチーム競技
- ・ 今後、部員数の減少を懸念(約8割)
- ・ 種目や学校によって差がある(約2割)

近隣地域を含めた  
柔軟な部活動の運営

- ・現在の部活動に対する満足度が高い。
- ・市町村ヒアリングによれば、今後、生徒数が減少していく状況があるため部活動が成り立たなくなる可能性がある
- ・今後、近隣地域を含めた柔軟な部活動の運営が必要である。

##### 【保護者に関する調査】



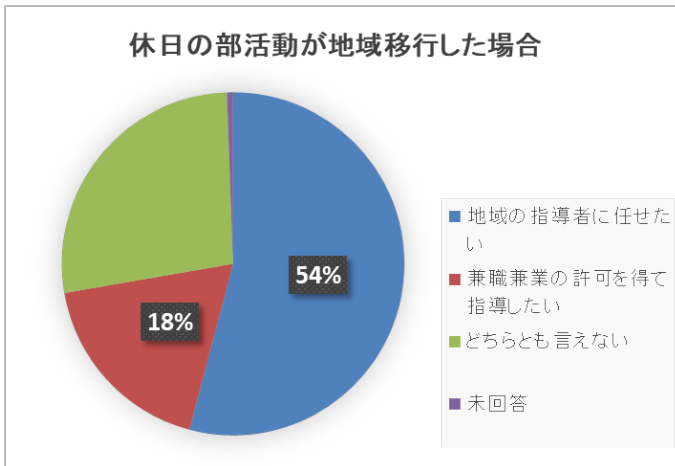
##### ■ 市町村ヒアリング(保護者について)

- ・ 部活動に対する要求の多様化(約6割)
- ・ 保護者の負担増(約2割)  
※車出し、遠征費

多様なニーズに合った活動機会

- ・現在の部活動に対する満足度が高いが、部活動に期待するものが多様である。
- ・市町村ヒアリングによれば、部活動に対する要求が多様化している。
- ・今後、多様なニーズに合った活動機会を確保していくことも必要である。

【教職員に関する調査】



■ 市町村ヒアリング(教職員について)

- ・ 部活動指導に対する負担(約9割以上)  
※勤務時間、専門性、責任等の負担感
- ・ 顧問不足の懸念(希望しない教員がいる)
- ・ 保護者への対応

地域における  
スポーツ・文化活動環境の構築

- ・ 指導時間に関する課題があると回答している教職員が多く、6～7割程度いた。
- ・ 部活動指導に負担をかけていると感じている市町村が9割以上あった。
- ・ 教職員の部活動指導に対する負担軽減をするためにも、「地域におけるスポーツ・文化活動の環境づくり」が必要である。

③ 福岡県における地域クラブ活動の構築に向けたガイドラインの作成

福岡県における地域クラブ活動の構築のためのガイドラインを作成し、各市町村教育委員会、スポーツ・文化芸術所管課、県内公立中学校、関係団体等に配布した。

4.2 地域移行における今後の課題と対応

<p><b>【関係者との連絡調整・連携体制の構築方策】</b></p> <p>広域的な活動を行う総括コーディネーター等を配置し、関係団体・市区町村等との連絡調整・指導助言等を行う。</p>	<p><b>【受け皿団体の確保方策】</b></p> <p>体育・スポーツ協会、競技団体、大学、企業等と連携して、運営団体・実施主体や指導者の確保等を行う。</p>
<p><b>【指導者の確保方策】</b></p> <p>福岡県スポーツ振興センターに設置されているスポーツリーダーバンクを充実し、指導者を確保する。指導者に対して、資質向上のための研修の受講や資格取得を促進する。</p>	<p><b>【困窮世帯への支援方策】</b></p> <p>地域スポーツクラブ活動に参加する困窮世帯に対して、必要な経費の支援を検討する。</p>
<p><b>【地域移行の自走化に向けた方策】</b></p> <p>地域スポーツクラブ活動に係る収支を踏まえた会費の適切な設定・徴収方法の検討や、保護者負担経費の調査・検討を行う。</p>	<p><b>【地域特有の課題への対応策】</b></p> <p>市町村への情報提供、相談対応が迅速にできるように、各教育事務所内に地域移行担当者をおく。</p>

# 令和4年度地域運動部活動推進事業

## 休日の部活動の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書

自治体名	宇美町教育委員会 担当課：学校教育課 電話番号：092-934-2245
------	---

### 1. 事業の概要について

#### 1.1 基本情報（令和4年度4月末時点）

① 中学校数	3校	② 生徒数	1099人	③ 部活動数	36部活
--------	----	-------	-------	--------	------

#### 1.2 地域における現状・課題

【現状】学校部活動は、指導力の不足や校務の多さから教職員の業務の負担となっている。  
また、宇美町は担当している部活動の競技経験がない教職員が、全体の約6割を占めている。

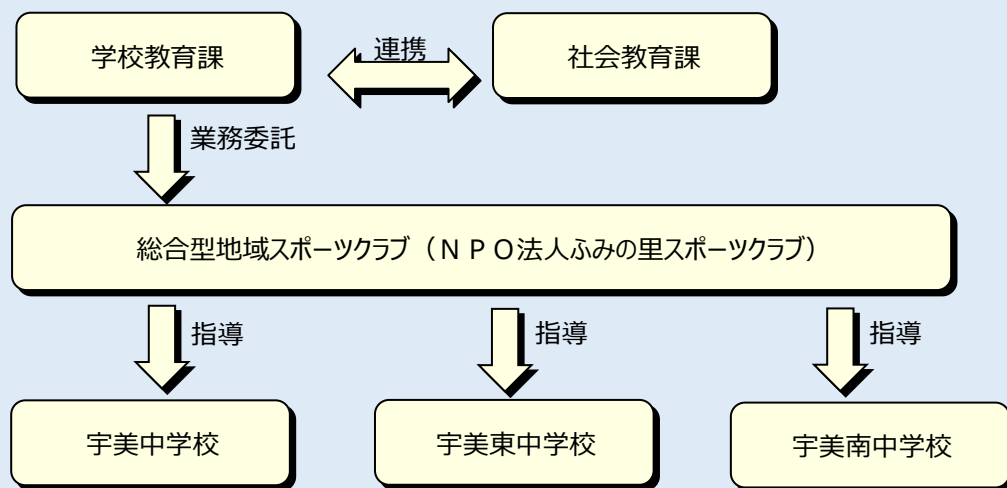
#### 【課題】

- ・指導者の人材の確保
- ・休日の部活動を支えられる運営団体やスポーツ所管課との連携体制が確立されていない
- ・事故やケガ、いじめなどの問題が起こった際の責任の所在等の保護者の理解

#### 1.3 実践研究における取組目標

- ・教職員の負担軽減
- ・運営団体、指導者の確保、連携体制の確立
- ・保護者の理解

#### 1.4 実践研究の運営体制



### 2. 地域連携や地域移行の推進に向けた体制整備の取組について

運営等検討会議を年3回（9月、12月、2月）実施。

メンバーは学校教育課、社会教育課、学校（校長）、NPO法人ふみの里スポーツクラブ、地域指導者。

会議内容は、町としての方向性の確認、保護者説明会の日程調整、活動内容の共有等である。

課題として、もともと地域指導者がいた部活動の生徒・保護者は、地域移行している実感が湧いていないという点があげられた。

課題をうけて、保護者会での活動内容の周知を行った。今後も継続して行う。

今後は、地域運動部活動の各学校における活動を継続しながら、

- ・保護者の理解を促進する活動（保護者全体に対する説明等の実施）
- ・スポーツ団体等関係者による検討会議を実施していくよう計画している。

### 3. 実践研究校における取組について

#### 3.1 実践研究校情報

① 実践研究校数	域内全 3 中学校のうち、3 校が実践研究に参加
② 実践研究に取り組んだ部活動数	3 部活
④ 種目	男子ソフトテニス部、女子ソフトテニス部 2 校

代表例 2 校（各 1 種目）

《主な取組例（1）》…宇美町立宇美中学校

① 運営主体	NPO法人ふみの里スポーツクラブ		
② 種目	男子ソフトテニス部	③ 参加者数	24 人
④ 活動日	土日、冬季休業中	⑤ 活動場所	宇美中学校、林崎公園等
⑦ 指導者人数	2 人	⑧ 謝金単価	1 人あたり 1,600 円/時間
⑨ 指導者属性	地域指導者		
⑩ 参加会費の有無・金額	徴収なし		

《主な取組例（2）》…宇美町立宇美東中学校

① 運営主体	NPO法人ふみの里スポーツクラブ		
② 種目	女子ソフトテニス部	③ 参加者数	11 人
④ 活動日	土日、冬季休業中	⑤ 活動場所	宇美東中学校、林崎公園等
⑥ 指導者人数	1 人	⑧ 謝金単価	1 人あたり 1,600 円/時間
⑨ 指導者属性	地域指導者		
⑩ 参加会費の有無・金額	徴収なし		

#### 3.2 参加者の声（生徒、保護者、教師、指導者等）

＜顧問負担軽減調査＞

アンケート総数 4 件（各部活動顧問）

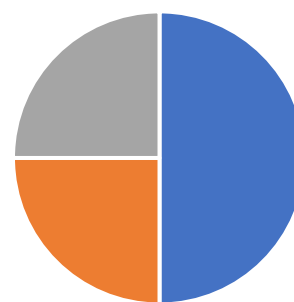
①部活動の指導が業務の負担となっているか



②今回の事業を行うことで業務負担軽減となったか



③今回の事業を今後も継続して行いたいか



#### 4. 実践研究の成果と今後の課題

##### 4.1 実践研究での検証から得た成果

3.2 の参加者の声で記載の通り、顧問の負担軽減の面では、5 割が軽減となったと答えている。

地域移行に伴う兼職兼業の整備や、保護者との連絡体制づくり等を今後行っていけば、教職員の負担軽減に繋がる。

指導者の確保の面では、もともと学校部活動の外部指導員が多かったが、今回新たに 1 名の確保ができた。

保護者の理解の面では、今回は地域移行に伴う金銭的負担がなかったため、肯定的な意見が多かった。

今後も保護者説明会を行っていく必要がある。

##### 4.2 地域移行における今後の課題と対応

###### 【関係者との連絡調整・連携体制の構築方策】

運営に関する検討会議を引き続き行い、さらに今後は、スポーツ団体等関係者による検討会議を行う。

###### 【受け皿団体の確保方策】

今後はふみの里スポーツクラブを受け皿としつつ、スポーツ少年団等関係機関とも連携を行う。

###### 【指導者の確保方策】

スポーツ団体等関係者等に検討会議を定期的に行い、指導者への活動の周知を行う。

###### 【困窮世帯への支援方策】

未定  
現状は保護者負担なしで行っている。

###### 【保護者への周知・理解】

令和 4 年度は、該当の部活動の保護者に説明会を行ったが、今後は保護者全体に対する説明等を行う。

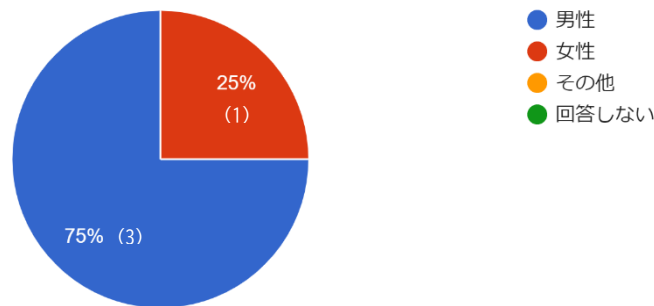
###### 【教職の兼職兼業の整備】

兼職兼業のシステムを整備し、休日の部活動の指導を希望する教員は、実施団体に所属し、謝礼金の支払いを行っていくよう整備する。

# 宇美町地域運動部活動アンケート 顧問負担軽減調査 (n=4)

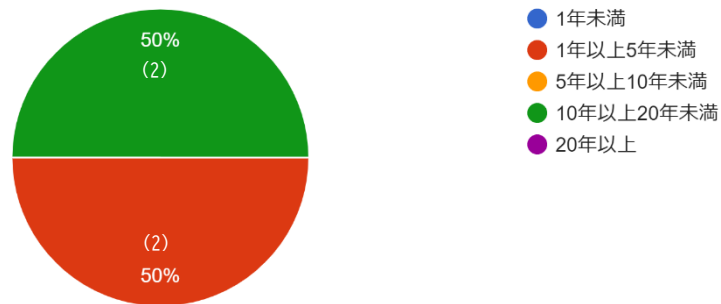
問1. あなたの性別を教えてください

4件の回答



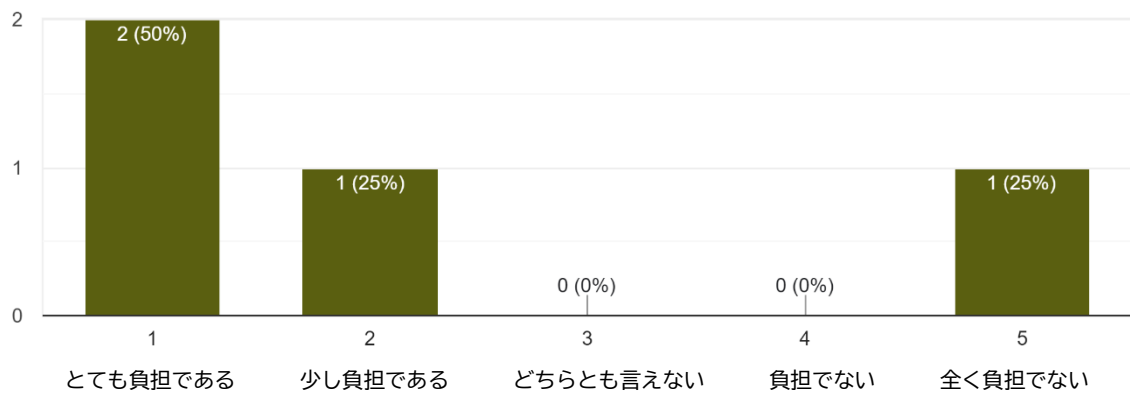
問2. あなたの教職経験年数を教えてください

4件の回答



問3. 学校運動部活動への指導が業務（校務）の負担になっていますか

4件の回答



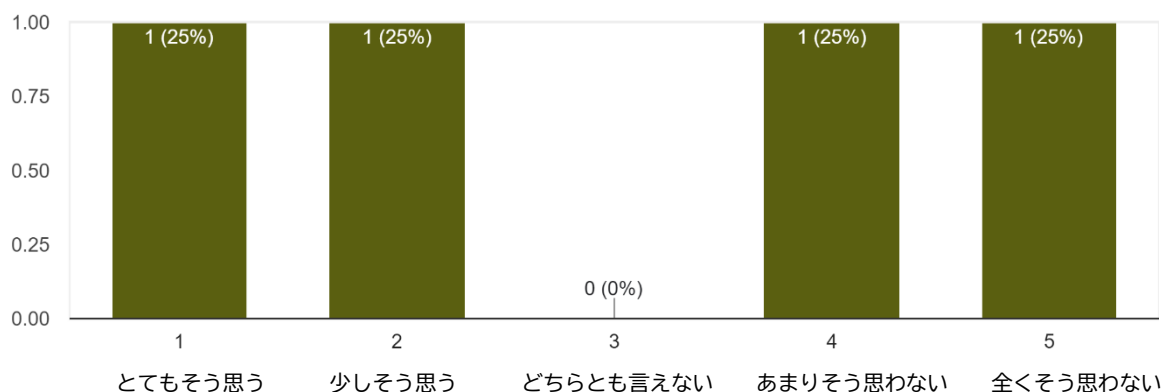
※その理由をお聞かせください（自由記述）

- ・休業日の出勤があり、大会や試合の頻度も高く、時間や体力を要するため。
- ・競技経験がないのに指導にあたらなければならないから。また、時間的拘束があるから。
- ・部活の後、校務になるため。大会等の運営等、やらないといけない仕事量も多い。
- ・子どもが真剣に部活動に取り組んでいるため



#### 問4. 地域運動部活動を行うことで業務（校務）の負担軽減に繋がりましたか

4件の回答

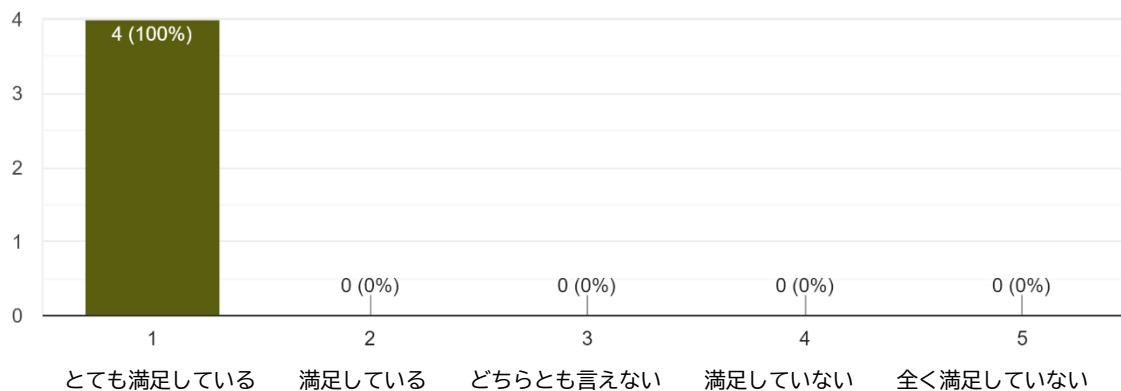


※その理由をお聞かせください（自由記述）

- ・週休日の時間が確実にとれるから。また専門の指導が受けられることで、生徒の姿に変化がみられたから。
- ・休業日の部活動指導を委託することができているため。
- ・家が遠いので、朝の雨天判断をしていただけたのは助かりました。連携の仕方次第で大きく変わる可能性があると感じています。ただ、移行期なので仕方ないが、スタートが遅すぎたためシステムを変えるのに時間がかかったため大きな軽減につながらなかったと感じています。
- ・連携がまだうまくいっていない。地域をはさむことによって連絡体制が難しくなった。

#### 問5. 地域運動部活動指導者の指導に満足していますか

4件の回答

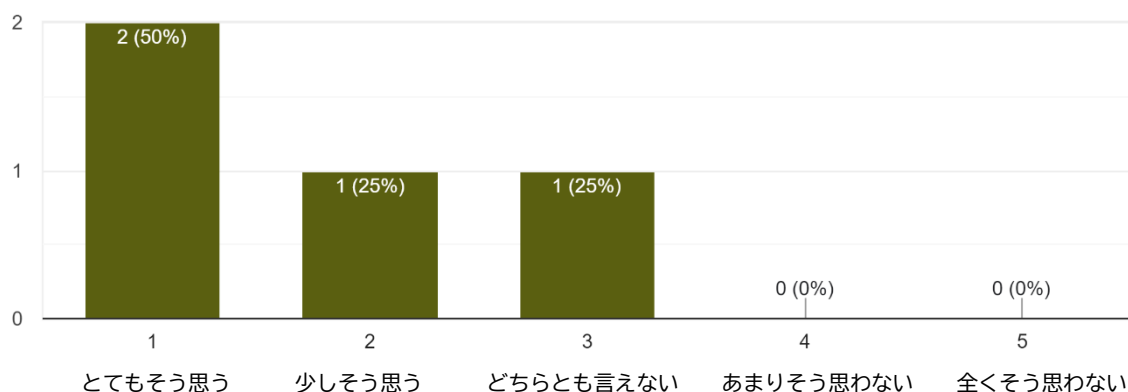


※その理由をお聞かせください（自由記述）

- ・本校での外部コーチの指導が始まってから、生徒も経験者にご指導していただくことによる満足感を感じており、スキルアップにもつながっていることが感じられるため。
- ・優れた指導技術や子どもがやる気になるような言葉掛けがあり大変助かっている。子どもの状態をしっかり共通認識しているので、顧問とコーチのコミュニケーションがうまくいっている。
- ・熱心に指導していただき、いつも感謝しています。忙しい中かなりの回数来ていただき、ありがたかった。
- ・学校の実態もご理解いただいた上で指導していただけているから。また、生徒のことをよくみて、声かけなどをしていただけているから。

## 問6. 地域運動部活動を来年度も継続して行いたいですか

4件の回答

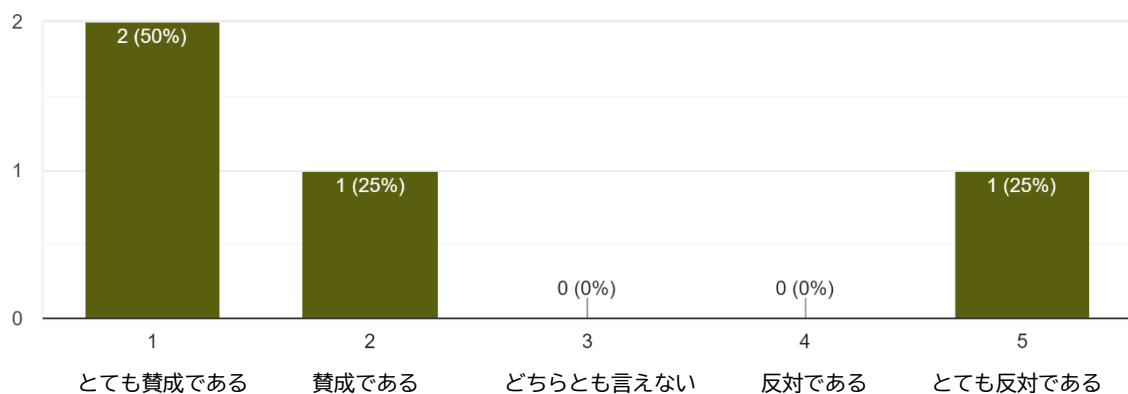


※その理由をお聞かせください（自由記述）

- ・地域運動部活動が始まり、休業日に職場に来ることがなくなり、精神的にも体力的にも非常に安定して校務にあたることができるようになったため。また、生徒も地域運動部活動が行われる土曜日や祝日をとても楽しみにしているため。
- ・週休日か確保できるから。また、生徒が専門の指導を受けることができるから。
- ・4月からスタートできるなら、今年の改善点を改善してスタートしていきたい。

## 問7. 部活動が学校から地域へ移行することについてどう思いますか

4件の回答



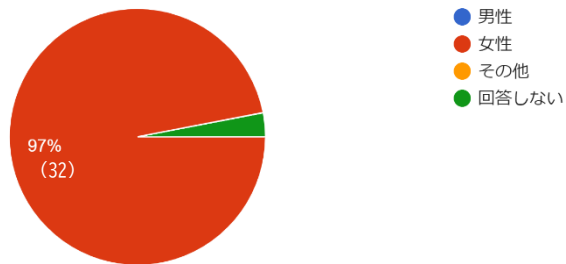
※その理由をお聞かせください（自由記述）

- ・部活動指導が本来の校務に大きな支障をきたしており、教員の長時間労働や志願者数の減少に直結する要因となっているため。現在は休業日のみ地域運動部活動となっているが、部活動を完全に地域に委託することで、教員としても生徒としても利点しかないと感じている。
- ・教員だけでは時間的にも、質的にも十分な専門の指導ができるとは思えないから。また学校外のさまざまな人と関わることで生徒にもプラスになると思うから。
- ・移行の仕方次第かなと思います。連絡システムの完備、保険の関係(このままだと二重になる)、学校保護者関係機関との連携、備品の使い方や使う回数など課題はまだありますが、少しずつ改善しながら進めていく事だと思っています。ふみスポさんだけでどうにもならないことも多いと思いますが良い連携ができればと思います。
- ・今年度の地域移行も見通しがいいまま実施しており、来年度も行うのかどうかははっきりしていないため。

# 宇美町地域運動部活動アンケート 保護者満足度調査 (n=33)

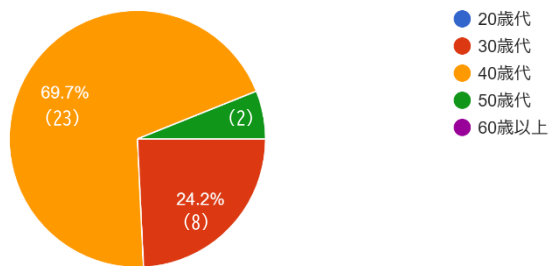
問1. あなたの性別を教えてください

33件の回答



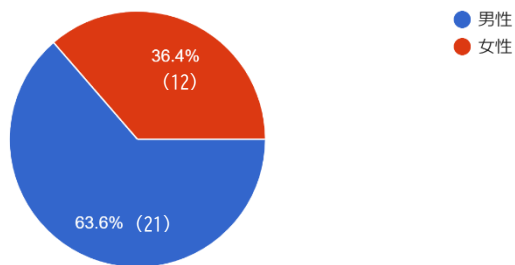
問2. あなたの年齢を教えてください

33件の回答



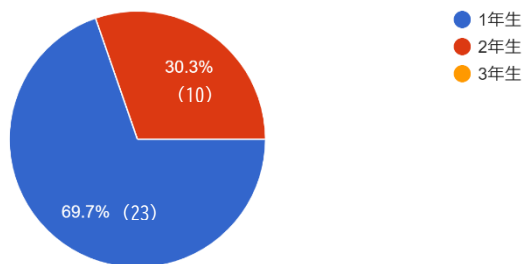
問3. あなたのお子さんの性別を教えてください

33件の回答



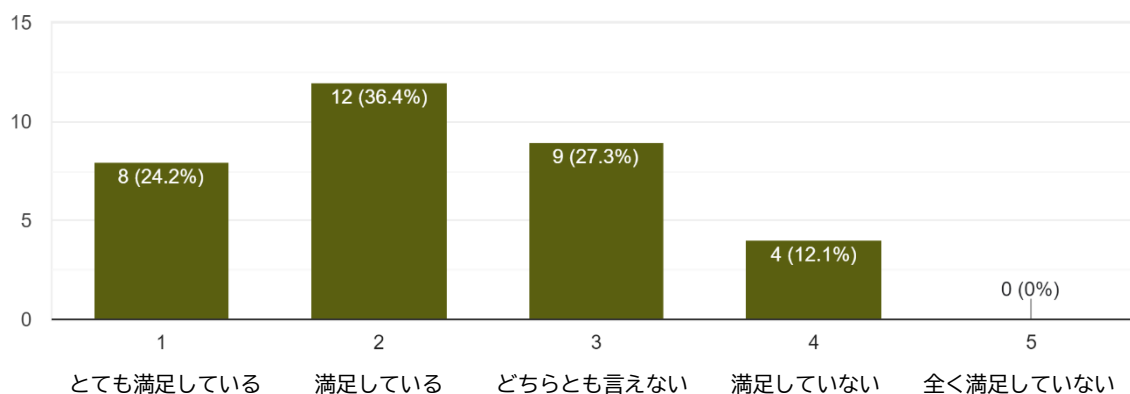
問4. あなたのお子さんの学年を教えてください

33件の回答



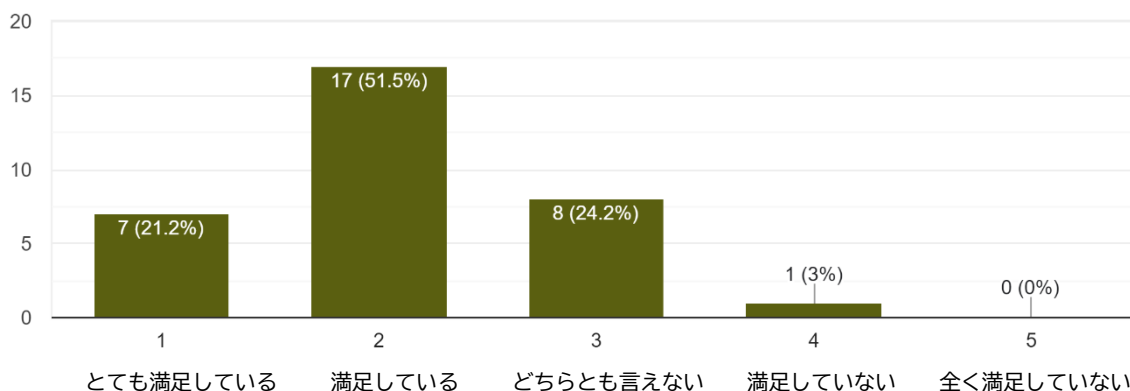
問5. 学校運動部活動（平日）についてどの程度満足していますか

33件の回答



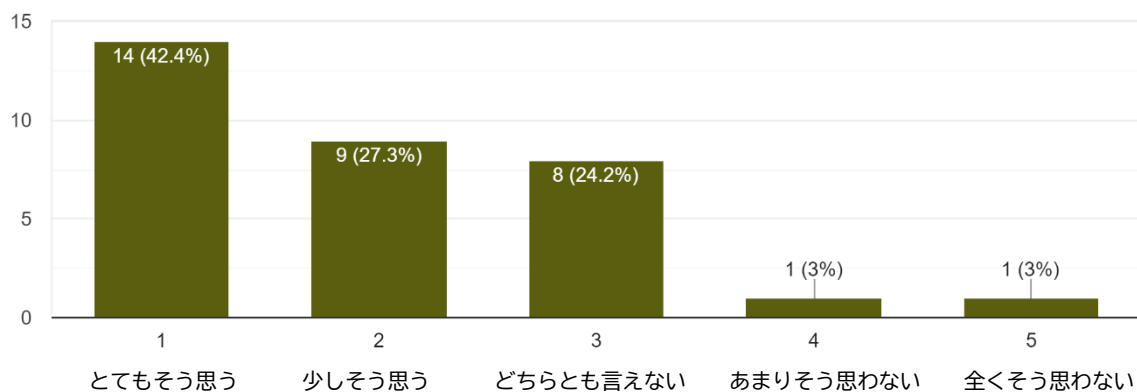
問6. 地域運動部活動（休日）についてどの程度満足していますか

33件の回答



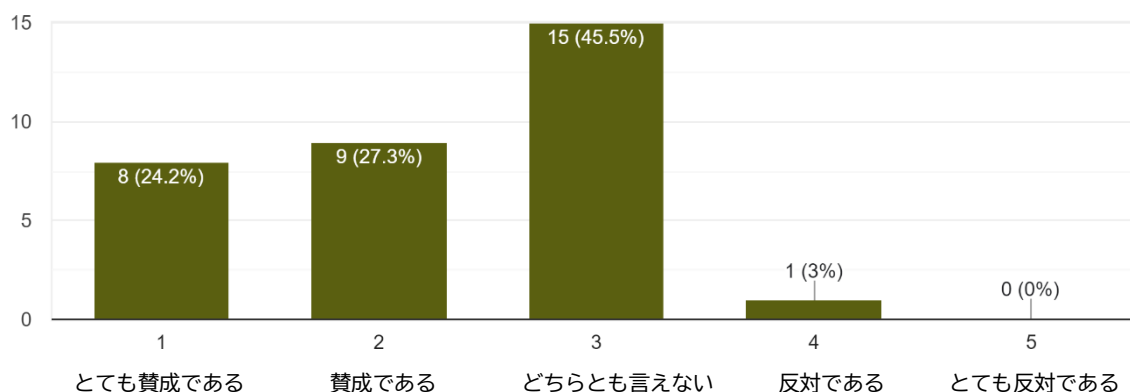
問7. 地域運動部活動を来年度も継続して行いたいですか

33件の回答



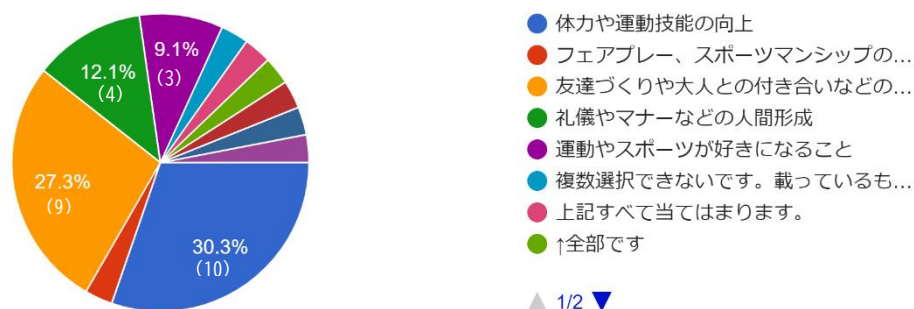
### 問8. 部活動が学校から地域へ移行することについてどう思いますか

33件の回答



### 問9. お子さんの部活動（中学生期のスポーツ活動...て、期待することや求めるものを教えてください

33件の回答



### 問10. 部活動の地域移行について、期待することや気になることがあればお聞かせください（自由記述）

- ・指導者が増えて技術が向上されるのは良いと思う 保険代が来年度以降どうなるか不安
- ・専門的な指導を受けたい 実践的な練習がしたい
- ・良い指導を受けたい。
- ・コート数を増やして、みんなたくさん練習できればいいと思います。
- ・学校のコートが少ないので、地域移行の日はコートをたくさん使わせて、練習させて欲しい
- ・費用負担が増えると部活をさせたくても出来ない家庭も出てくると思うので、そこは慎重に考えてほしい
- ・子供達のやる気や力をもっと引き出して刺激になるような指導を受けさせてあげたいです。
- ・時代の流れとして(先生の負担など)地域移行していくのかなと思っています。今は顧問の先生が熱心に指導してくださっているのありがたいですが、異動などでやる気のない先生になったら、と言う不安はあります。また今は保護者でこれと行った決まりのない中で、会費を運営しています。その辺りを地域移行で管理していただけると助かります。
- ・今のところ特にはないです。
- ・経験者が指導してほしい。
- ・部費以外に、お金がかかると困る

- ・学校と全く関係なくなるのも不安。1人の子供に、学校は学校で学校のことを全力で要求。部活は部活で全力で要求。となると、子供が板挟み状態になるのでは。
- ・テニス専門のコーチがいらっしゃるので、欲を言えば、個人のウィークポイントの練習をもっと強化して欲しいです。
- ・とくになし
- ・地域移行という形よりも学校と地域が連携する部活動であるといいなと思います。
- ・保険料等の費用負担が気になります。
- ・良い指導を受け、基本から学んで部員みんなが一生懸命テニスに打ち込み上達して勝ち負けの楽しさや悔しさを経験してほしい。
- ・より良い指導を受けたい
- ・子どもにとって、良い指導を受けたい
- ・調整さんなど取り入れられやりとりがスムーズにできるようになったのが良かったです
- ・子供たちが楽しくできて、良い指導を受けたい。
- ・経験のある指導者の方からの指導に期待したい。月謝や試合日数など詳しく知りたい。
- ・楽しく続けているのでそのままよろしくお願い致します
- ・平日と休日の指導の違い（人によつての違い）が心配。
- ・まだ始まったばかりなので、よく分かりません。
- ・高い技術指導力がある方の指導など
- ・部活動が地域移行した場合練習場所が縮小しなければいいなと思います。校舎内での不可など。現在の部費とどのくらい変わるのかプランの提示があれば。。。保護者会や役員はどのようになるのか。
- ・楽しく練習が出来れば誰が指導でもいいと思います。指導にも熱が入るあまり子供が苦しくならないようにして頂きたいです。
- ・良い指導を受けたい
- ・ない
- ・コーチの部活動に対する活動方針等が分かりづらい。
- ・色々と指導してもらえる
- ・人間関係における成長を期待する

問5. 学校運動部活動（平日）についてどの程度満足していますか（自由記述）

- ・短い時間だが、楽しく練習出来ていると思う
- ・個人個人のレベルに合った練習が出来ていない。指導者がいない。自分達でなんとなく練習している。
- ・勉強との両立ができるため。
- ・先生には熱心に指導してくださり、とても感謝しているのですが、大人数に対してコートが一つしかないため、十分な練習ができていないようです
- ・部員数が多いのに使えるコートが少ない
- ・子どもが楽しそうなので
- ・男子テニス部はコートが1面しかないので、満身に練習が出来ていない
- ・先生が熱心に指導してくださっているのです。子供も部活を楽しみにしているのです。
- ・先生が熱心ですし、子供も楽しく活動しているようなので。
- ・まだ始まったばかりでよくわからない
- ・コートが1面での練習で、他校との差を感じる。コートの水捌けが悪い。
- ・楽しくできてる
- ・冬季は練習時間も短く、コートも一面の為、充実した練習ができてない様です。子どもは部活動の仲間ができて楽しそうです。
- ・頑張っている
- ・顧問の先生もお忙しい中、子どもたちのためにご指導いただき大変感謝しております。
- ・楽しんで出来ているようです。
- ・教えてくれる先生やコーチが居ないので練習がちゃんと出来てない
- ・時間、設備の確保を充実してもらいたい
- ・子ども自身が満足していると感じるから
- ・楽しみしているから
- ・子供も不満なく楽しくできている
- ・部活動時間に指導者がいない時間が長いのであまり指導していただけないのと、トラブルがあっても発覚しにくい。
- ・参加に意欲あるため
- ・コート数が少ない
- ・部活動でどんな事をしているのか、あまり知らないのです。満足か不満かの答えようがありません。
- ・部活終えても、し足りないようなので
- ・楽しんで取り組んでいるようなので良いと思います。雨の日は部活が休みになりますが、校内などで練習場所の確保ができ、トレーニングができればもっと良いのではとも思います。
- ・ちょうどいい練習量だから
- ・練習相手の不足
- ・時間がいい
- ・平日、休日活動とも特段変わらないと思うから。
- ・子供が満足している為
- ・活動できるスペースが狭い

問6. 地域運動部活動（休日）についてどの程度満足していますか（自由記述）

- ・コーチも来られてしっかり練習を見てもらえる
- ・平日より、実践的な練習ができています。的確なアドバイスがもらえる。
- ・時間的にも負担にならないため。
- ・いつも熱心に、子供達をみてくださり、感謝していますが、時間が短くなり、前より楽しくなくなったと聞いたことがあります。
- ・問題なく活動されてるので
- ・長期休みの部活日が少なく感じた
- ・時間が短くなった所は子供は納得してないようですが、平日よりは良いみたいです
- ・今までとあまり変わらないので。部活動の活動時間が短くなったのが少し残念です。
- ・学校で部活動していた時と同じように、子供も楽しそうです。出欠の連絡も簡単で手間もかからず、良いと思います。
- ・今までとあまり変わらないから
- ・林崎コートを使っの練習なので、平日よりコート練習ができているから
- ・平日より時間とってテニスができる
- ・平日に比べて、コートも数面ありコーチもいてくださり、練習が充実できているようです。
- ・試合が直前に入ると仕事などの予定が狂う。自転車で行くことを認めてほしい
- ・林崎のテニスコートを利用できることで、コート内での練習時間もしっかりと確保していただいていますし、他校との練習試合など先生やコーチにもご指導いただいて様々な経験をさせていただいき、大変感謝しております。また、林崎のテニスコートの鍵当番等をふみの里スポーツクラブの方がしてくださっていることは保護者としてはものすごく助かります。ただ、林崎テニスコートの場所が子どもによっては3キロ近く離れている子どももいます。往復を考えると〇キロ以上は自転車可など考慮していただけると助かります。
- ・コーチ達に教えてもらうのも楽しいようです。
- ・コーチに教わってサーブが入るようになったり、速い球が打てるようになったりを本人が実感し、テニスにより一層楽しくなってきた。と帰って話してくれるので満足してます。
- ・以前と変わりなく活動出来ているから。ただもう少し長い時間練習をしてもいいのかと。
- ・家にいてもゲームしかしないので、休日も部活がある方がいい。
- ・楽しみにしているため
- ・楽しく出来ている
- ・ちょうどいい
- ・楽しみにしている。体調不良のときがある
- ・練習時間が短い。人数が多いので練習のコート数を増やしていいと思う。
- ・もう少し活動的でもいいのかな、とは思いますが。
- ・平日の上記同様
- ・地域に出るの練習は他のプレイヤーを見る機会にもなり、良い刺激になると思います。練習日数がもう少しあれば、と思います。
- ・できていないところを指摘してくれるから
- ・少人数なので
- ・時間がいい
- ・特別満足する要素がない
- ・子供が満足している為
- ・広い場所ででき、体験、経験を積める



問7. 地域運動部活動を来年度も継続して行いたいですか（自由記述）

- ・わからない
- ・顧問の先生の負担が軽くのは良いと思う
- ・経験者の指導は必要だし、子供本人が上達を実感しているので。
- ・今の現状が一番あっているのでは。
- ・先生の負担が減ったかどうかはわからないし、良くなったと思う点は、子供目線からは感じられないから。
- ・保護者の当番が減ったから
- ・これと言ってメリットを感じられないので
- ・まだあまりこれといって良かったと実感できていないから
- ・元々先生やコーチが一生懸命指導してくださっていた部だったので、地域部活動に移行したメリットをあまり感じていません。元々部活動を負担に思われていた顧問の先生であったなら、地域に移行することで土日  
に休みを取っていただいたりすることで、学校としてはメリットがあったのかもしれないと思います。
- ・私はお世話になれるのであれば地域でも学校でもありがたいです。
- ・欠席などの連絡がスムーズにできるのは、有難いです。顧問の先生の負担が減っているのであれば良いと思います。
- ・先生方の負担軽減
- ・テニスの知識や細かい動きのアドバイスなど専門の指導者から指導を受ける事で、よりテニスが好きになり、より上達もできそうだと思います。
- ・とくになし
- ・顧問の先生がご多忙な中、子どもたちのために平日、休日問わずご尽力いただいていることに感謝しておりますが、やはり、今後を考えると先生のご負担を軽くできるのであるば、地域の方に助けていただきながら部活が継続されることを願います。
- ・先生の負担も減るだろうし、子どもも楽しんでるので。
- ・ちゃんと基本から教えて頂きたいので。
- ・先生、保護者の負担軽減につながると思うから
- ・今年度、始まったばかりなので
- ・本人が楽しんでいるため
- ・助かっている
- ・子供も喜んでいるので
- ・楽しいといっているため
- ・よくわからないままだった。
- ・よし悪しがあまり分からない。
- ・部活の顧問の負担など考えれば継続していくべきなのかって考えるため
- ・部員の少ない中、いろいろなプレイヤーから刺激を受ける機会はとても大切だと思います。見て学ぶ、交流する機会になる場になるので継続して行きたいと思います。
- ・技は教えて欲しいけど、休みは欲しい
- ・始めたばかりなので
- ・まだ移行して間もないから。
- ・経験のある方に教えてもらえる為
- ・部活で費用がかかるのは抵抗がある。

問8. 部活動が学校から地域へ移行することについてどう思いますか（自由記述）

- ・顧問の先生の負担が軽くなるなら良いと思う
- ・競技経験の無い先生方が、顧問になるのは先生の負担でもあるし、指導がなかなか難しい。放課後や休日の先生方の負担も大きい。経験のある外部の指導者が入ることで、より実践的で専門的な練習ができて上達も早くなると思われるので。
- ・現状維持のため。
- ・現状は、中心はやはり先生で、外部コーチはサポートという形が子供達には団結しやすく、モチベーションも上がるように思います。
- ・月謝の面が心配
- ・先生の負担軽減にはつながると思うが、移行期間の中途半端な期間に我が子が中学校を卒業してしまうので、今まで通りで良かったのと思ってしまう
- ・移行してしまったら学校での部活動はなくなってしまうのか、平日の練習などが減らないか、満足のいく練習が出来るのかなど、まだよくわからないから
- ・部活動を負担に思っている先生の負担を減らすことには賛成です。ただ個人的には、学校と部活動の両方の様子がわかる先生がいてくださるのはありがたいです。担任以外に頼れる先生がいることになるので。
- ・私はお世話になれるのであれば地域でも学校でもありがたいです。
- ・地域に委託することでコーチが増え、技術、質の向上ができるのでいいと思う。
- ・移行するメリットとデメリットがわかりません 顧問の先生との関わりが少なくなると、子供達は嫌だと思えます。顧問の先生との絆は深いですから
- ・先生方の負担軽減になるが、地域となると、指導者のやり方によっては善し悪しが出てくるのでは？今の自分の子供の指導者さんは問題ないが…
- ・部活から地域に移行しても、その他のクラブに移行しても、スポーツを楽しみ、頑張る事は変わらない。より専門知識に特化したコーチの元で、指導を受けれるので賛成です。
- ・とくになし
- ・問8でもお答えしたように、部活動を顧問の先生だけにお任せするのではなく、地域の方々や保護者や様々な方に関わっていただくことで、子どもたちのより豊かな成長にも繋がるのではないかと思います。
- ・先生の負担が少なくなるのが1番かなと思います。
- ・先生方の負担も減りテニス経験のあるコーチに教えて頂くことで子供達も上達出来るのでとても大賛成です。
- ・先生、保護者の負担軽減につながると思うから
- ・部活動を負担に感じる先生にとっては、いいと思う。
- ・子どもが参加に変わらず意欲あるため
- ・助かっている
- ・先生方が部活動まで指導するのは負担になりますし、経験者の方からの指導を受けることで子供達の成長にもつながると思います。
- ・色々な指導や経験につながるよう思うため
- ・違いを感じなかったのではわからない。
- ・連絡等はしやすくなりましたが、まだいいのか良くないのかわかりません。
- ・移行することによって部活そのものが、どうこう変わらないから
- ・部活内でのトラブルがあった場合、介入が難しくなるのではないかと。
- ・経験者のコーチに指導をしてもらえるのは、子供達にも先生にも良いと思う。でも、先生と一緒に練習したいとも思うので、どちらとも言えない。
- ・顧問によってばらつきが出るから
- ・わからない

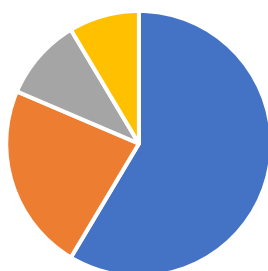
- ・移行したことよっての、子供達へのメリットが分かりづらい。
- ・しっかり教えてもらえる為
- ・教師の負担軽減のため

- ①多くの顧問は部活動が業務の負担と感じている。部活動を負担と感じていない顧問には、兼職兼業の整備が必要と感じた。
- ②負担軽減となった理由は、週休日の時間が取れるようになった。また生徒は専門的な指導が受けることができているからとのこと。負担軽減とならなかった理由は、地域との連携がまだうまくいっておらず、負担が大きくなったからとのこと。
- ③今後の継続については、多くの顧問が継続を希望している。  
 どちらとも言えない理由は、今回の改善点を踏まえてより良くしていく必要があるからとのこと。

<保護者満足度調査>

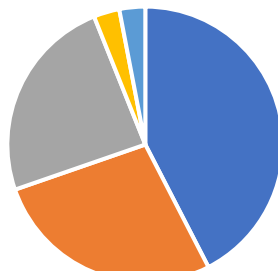
アンケート総数 33 件

①休日の活動についてどのくらい満足しているか



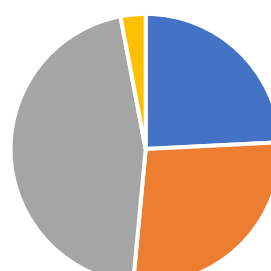
- とても満足している (7)
- 満足している (17)
- どちらとも言えない (8)
- 満足していない (1)

②今回の事業を今後も継続して行いたいか



- とてもそう思う (14)
- 少しそう思う (9)
- どちらとも言えない (8)
- あまりそう思わない (1)
- 全くそう思わない (1)

③部活動地域移行についてどう思うか



- とても賛成である (8)
- 賛成である (9)
- どちらとも言えない (15)
- 反対である (1)

①、②では肯定的な意見が多くあったが、③の地域移行についてどう思うかの設問には、どちらとも言えないが大半となっている。今後も継続して地域移行の必要性を保護者へ伝えていくことが重要となる。

3.3 各実践研究校での取組を通じて挙げた課題や解決方法、取組において特に工夫した点

・指導者の確保

ふみの里スポーツクラブの紹介で1名確保できたがまだ指導者の不足が課題として挙げられる。今後、スポーツ団体等関係者等に検討会議を定期的に行い、指導者への活動の周知を行う。

・活動に対する保護者への理解促進

保護者説明会を行った。また、今後も継続して保護者説明会を行っていく。

保護者説明会では部活動の現状から、地域移行の必要性や、今後、国全体に対して波及していくことを重点的に話した。

# 令和4年度地域運動部活動推進事業

## 休日の部活動の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書

自治体名	福岡県教育委員会（大木町教育委員会） 担当課：こども未来課 学校教育グループ 電話番号：0944-32-1269
------	---

### 1. 事業の概要について

#### 1.1 基本情報（令和4年度4月末時点）

① 中学校数	大木中学校	② 生徒数	445人	③ 部活動数	14部活
--------	-------	-------	------	--------	------

#### 1.2 地域における現状・課題

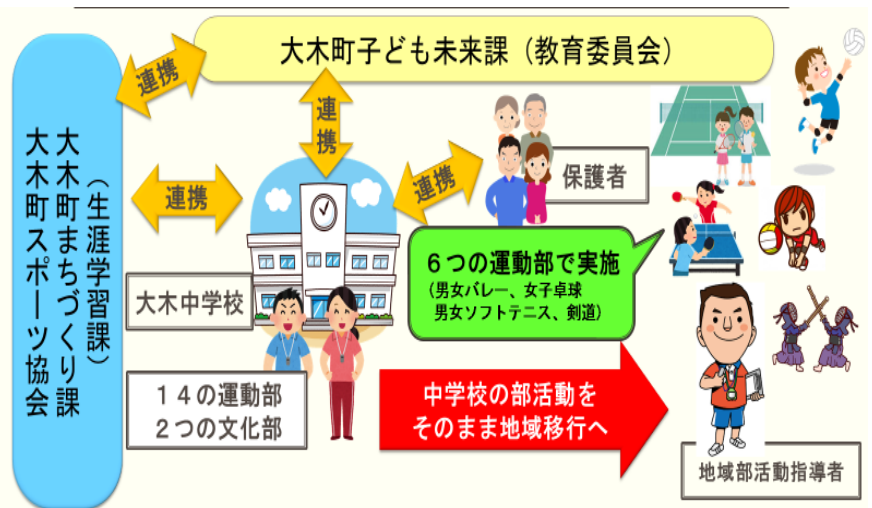
- ・ 部活動に参加をしている生徒が全校生徒のおよそ85%で、社会体育で活動している生徒は10%ほどである。
- ・ 学校の職員で専門的な指導ができる人材が60%ほどしかいないため、小学校時まで地域のジュニアスポーツに参加していた生徒が中学校において専門的あるいは、小中一貫した指導ができず、専門的な指導者への要望や期待が高い。
- ・ 地域部活動に係る人材及び財源を確保できない。

#### 1.3 実践研究における取組目標

- ・ 町ジュニアスポーツで指導をしていただいている方などを中学校の地域運動部活動指導員として依頼をする。
- ・ 地域移行に取り組む部活動に関しては、ブロック大会以上の上位大会（中体連地区大会）への出場を目指すこと。
- ・ 本校生徒の体力的な向上を図る。（令和4年度全国体力、運動能力、運動習慣等調査結果を全国平均以上にする）

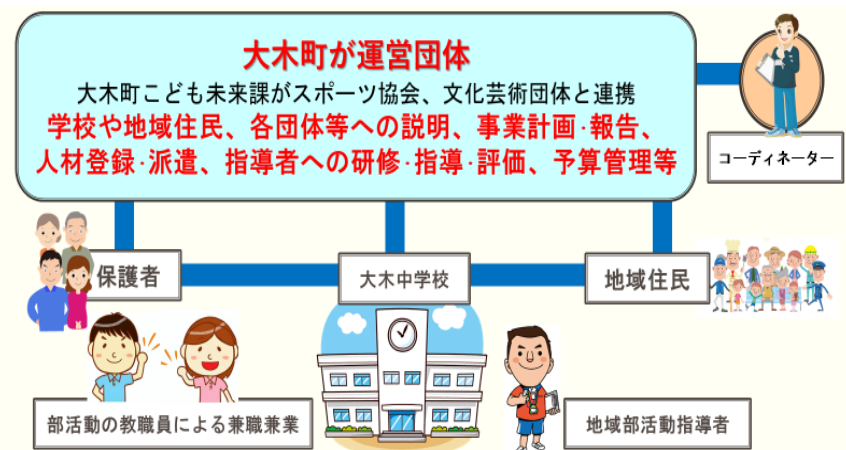
#### 1.4 実践研究の運営体制

- ・ 中学校が運営母体となる。
  - 指導員の選出は校長が行い、町教育委員会が承認する。時間の管理等は学校で行い、計画書や報告書も学校で作成し、委員会へ報告する。
  - 施設については、従来どおり部活動で活動していた施設を町スポーツ協会に借用できるように届け出る。
  - 生徒や保護者への説明は学校で行う。



### 2. 地域連携や地域移行の推進に向けた体制整備の取組について

- ・ 町教育委員会、県体育スポーツ健康課とは連携し、事業を進めてきた。
  - 県体育スポーツ課が設定した検討会等には、町教育委員会と共に学校長が参加をしている。ただし、町教育委員会とも協議はしているが、町スポーツ協会や町づくり課などと連携して取り組んだり、協議したりはできていない。
  - ただし、町教育委員会との協議において、学校が運営母体ではなく、一町一校の強みを生かすために大木町が運営母体となって右記のような組織体制を組織していくことを確認している。
  - 町スポーツ協会にコーディネーターを配置し、本事業の取組を担い、地域部活動指導者の配置、町と学校の連携、保護者や地域住民への説明を行う。



### 3. 実践研究校における取組について

#### 3.1 実践研究校情報

① 実践研究校数	1校
② 実践研究に取り組んだ部活動数	6部活
③ 種目	男女ソフトテニス、男女バレーボール、女子卓球、剣道

#### 《主な取組例（1）》…大木町立大木中学校

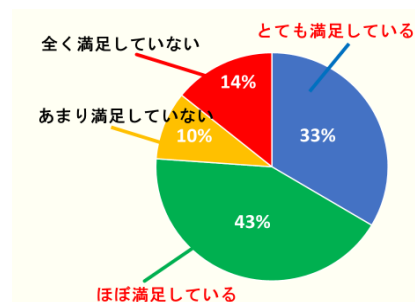
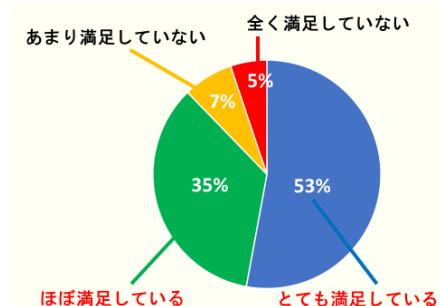
① 運営主体	部活動		
② 種目	男子ソフトテニス	④ 参加者数	37人
④ 活動日	土曜日	⑤ 活動場所	本校テニスコート
⑦ 指導者人数	1人	⑧ 謝金単価	1人あたり1,000円/時間+交通費
⑨ 指導者属性	教員を退職され、本校の学習サポーターとして勤務されている方		
⑩ 参加会費の有無・金額	徴収なし		

#### 《主な取組例（2）》…大木町立大木中学校

① 運営主体	部活動		
② 種目	剣道	④ 参加者数	20人
④ 活動日	土曜日	⑤ 活動場所	本校武道場
⑦ 指導者人数	1人	⑧ 謝金単価	1人あたり1,000円/時間+交通費
⑨ 指導者属性	大木町剣道協会会長		
⑩ 参加会費の有無・金額	徴収なし		

#### 3.2 参加者の声（生徒、保護者、教師、指導者等）

- ・対象の部活に所属している生徒への「部活動への満足」のアンケートでは、全体の88%の生徒が好意的にとらえている。
- ・地域部活動指導者がいる全ての部活動で、地区大会や県大会に出場するなどの結果を残せたことが大きい。
- ・専門的な指導を受けられることから生徒の部活動に対する意欲は向上しており、全国体力、運動能力の調査においても中学校2年生で男女ともに全国平均を超える結果を残すことができた。
- ・対象の部活動に子どもが属している保護者へのアンケートでの満足度も生徒同様に76%が好意的にとらえているが、1年生の保護者では、部員が多いために大会前などは専門的な指導を受けられにくいということや練習試合、大会等に出場できないという理由もあげられた。
- ・教員へのアンケートでは、働き方改革の一助となると全員が回答している。
- ・指導者についても自分の力を生かしていると感じ、半数の方はボランティアでも従事させていただきたいと考えていることが聞き取りにより分かった。



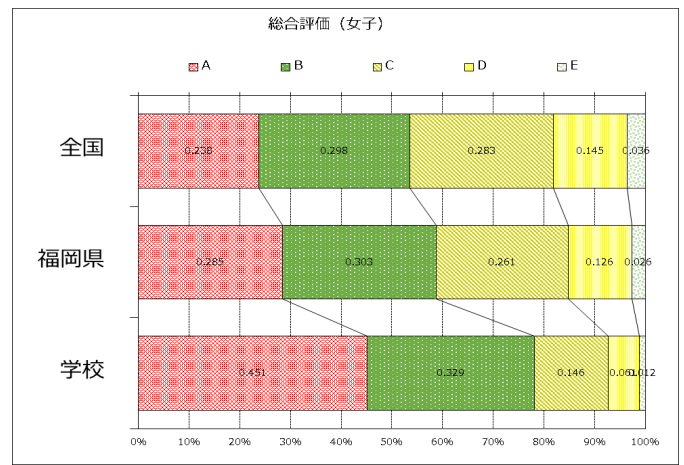
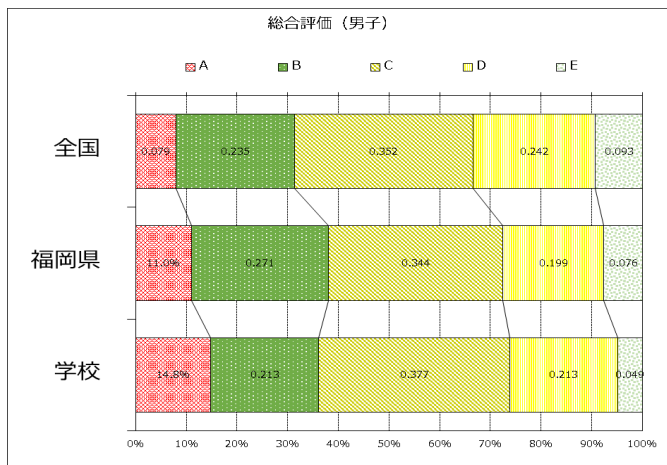
#### 3.3 各実践研究校での取組を通じて挙げた課題や解決方法、取組において特に工夫した点

- ・部活動をそのまま地域移行としているため、学校や町の施設について借用の問題等はない。指導者の確保については、これまでの教職員時代の部活動経験や学校の授業へのゲストティーチャー（武道）としての経験、外部指導者の経験等から職員や保護者からの推薦を受けてお願いをしている。
- ・休日と平日の指導の一貫性については、地域部活動指導員さんが平日もボランティアで従事していただくことがあり、顧問との連携もとれている。
- ・生徒の事故やケガは学校安全協会から、指導員の保険は学校で加入している。事故発生時の責任は学校としている。
- ・参加に対する実費は徴収していない。練習試合や協会大会への遠征は部活動顧問から保護者へのお願いをしている。

## 4. 実践研究の成果と今後の課題

### 4.1 実践研究での検証から得た成果

- 顧問教師が専門性に乏しくても、地域部活動指導者の指導によって生徒の体力面や技術面での向上を図ることができた。  
→6つの部活動全てで地区大会や県大会に出場することができた。(男子バレーボール部と剣道部が県大会出場)  
→下記の全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果より中学校2年生男女ともに高い結果が得られた。



- 地域部活動指導者を導入して、人数の多い部活動については、学年や習熟度別での専門的な技能を習得できるよさがある。
- 地域部活動指導者とのつながりから段階に応じた練習の仕方を教えてもらうことができ、平日の練習に活かすことができる。
- 中体連大会や各公式大会、練習試合にベンチ入りしてもらうことで、専門的なアドバイスをその場面等に応じて的確に受けられる。
- 地域部活動指導員を導入することで職員の部活動に係る負担減につながる。

### 4.2 地域移行における今後の課題と対応

	令和4年度	令和5年度	令和6年度～7年度
方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度～の方向性検討 (こども未来課、スポーツ協会)</li> <li>地域運動部活動推進事業委嘱 (成果・課題の整理)</li> <li>保護者・生徒へのアンケート調査 (12月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>週休日の地域運動部活動実施 (令和4年度程度で実施)</li> <li>保護者への説明会の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>週休日の地域運動部活動へ移行 (順次2年間かけて)</li> </ul>
指導者	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域運動部活動指導員 (6名登録) バレーボール部 (男女)、剣道部 (男)、卓球 (女) ソフトテニス (男女)</li> <li>令和5年度の方向性検討、予算要求</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員の兼職兼業について検討</li> <li>令和6年度の方向性検討、予算要求</li> <li>指導者研修会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ協会による指導者の整理と確保</li> <li>教員の兼職兼業</li> </ul>
団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務局の設置、受け入れ団体の検討 → 【文化】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務局の設置</li> <li>受け入れ団体の整理 【文化】</li> <li>部活動の整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務局の設置</li> </ul>
大会等		<ul style="list-style-type: none"> <li>大会参加規模の整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大会参加規模の整理</li> </ul>
会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>町運動部活動改革会議 (12月、1月、3月)</li> <li>第1回福岡県部活動改革セミナー (11/2)</li> <li>第1回福岡県検討委員会 (11/29)</li> <li>第2回福岡県検討委員会 (2/中旬)</li> <li>第2回福岡県部活動改革セミナー (2/21)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町部活動 (運・文) 改革協議会 ↓ 学校、町 (2課)、スポーツ協会・各団体 (文化)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町部活動改革協議会 (通年)</li> </ul>

# 令和4年度地域運動部活動推進事業

## 休日の部活動の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書

自治体名	福岡県宗像市 担当課：市民協働環境部文化スポーツ課 電話番号：0940-36-1540
------	---

### 1. 事業の概要について

#### 1.1 基本情報（令和4年度4月末時点）

① 中学校数	7校	② 生徒数	2,677人	③ 部活動数	62部活
--------	----	-------	--------	--------	------

#### 1.2 地域における現状・課題

中学生の運動部活動は全国的傾向と同様に教員の負担で成り立つ構造で、一部その対応として外部指導者を受け入れ、運動部活動が維持されている。教員負担は大変大きく、競技種目未経験者が受け持つことも多く、中学生のスポーツ環境としてもよりよい状況となっていない。

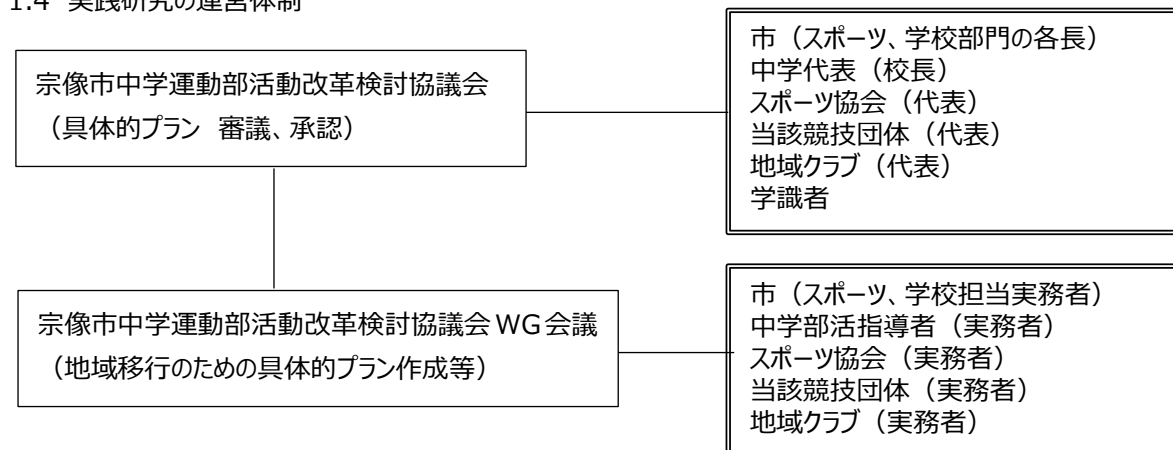
##### 【課題】

- ①地域の受皿となるスポーツクラブ（以後「地域クラブ」）の立ち上げ（野球）や運営形態の見直し（バスケットボール）
- ②地域クラブの中学校指導者への周知と理解促進、中学生への周知と部員確保（中学部活生の取り込み）
- ③学校と連携した役割分担（地域→土日、学校→平日）

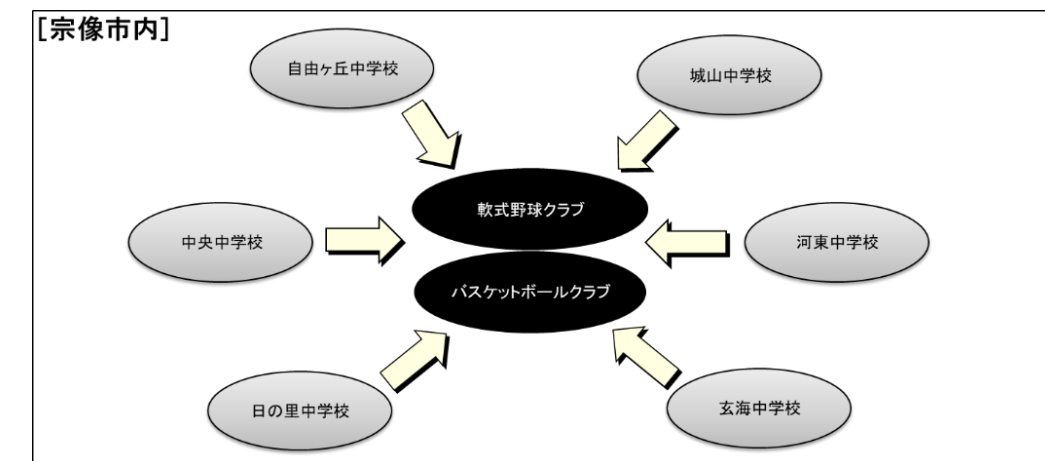
#### 1.3 実践研究における取組目標

- ①中学生のための地域クラブとなる組織として野球は新規クラブを創設し、バスケットボールは現行3年生対象を1～3年生の受け入れに変更し、活動日を週末にする形態を整える。
- ②上記地域クラブの部員確保が進む（各学年10人程度）。
- ③地域クラブ加入の部員が平日に学校部活動で当該種目の活動に参加できたり、他の部活やトレーニングができたりする。

#### 1.4 実践研究の運営体制



#### ●地域クラブ立ち上げ





## 2. 地域連携や地域移行の推進に向けた体制整備の取組について

宗像市運動部活動改革検討協議会会議を3回、宗像市運動部活動改革検討協議会ワーキング会議を5回開催し、「中学校運動部活動改革のロードマップ・基本方針」「競技種目別の必要な受皿クラブ数」「受皿クラブ立ち上げスケジュール」「市担当部署の役割」を決定した。

### ●宗像市運動部活動改革検討協議会会議

日時	回数	内容
5月19日(木)	第1回	会長、副会長の選任、実践研究の内容、今後のスケジュール
8月17日(水)	第2回	中学校運動部活動改革のロードマップ・基本方針、競技種目別の必要な受皿クラブ数、教師・保護者・生徒へのアンケート結果、市の基本方針関連・市担当部署の役割
2月10日(金)	第3回	最終報告資料の承認、今後の取り組み

### ●宗像市運動部活動改革検討協議会ワーキング会議

日時	回数	内容
6月24日(金)	第1回	グループ長、副グループ長の選任、実践研究の進捗、ワーキンググループ事業計画
7月28日(木)	第2回	運動部活動調査結果、競技種目別の必要な受皿クラブ数、野球とバスケットボールの具体的取り組み、教師・保護者・生徒へのアンケート結果、令和7年度までのスケジュール
9月27日(火)	第3回	中学校運動部活動改革のロードマップ・基本方針、実践研究クラブの活動報告及び今後の活動、市内スポーツクラブの活動状況
11月18日(金)	第4回	福岡県における部活動改革の方向性、玄海中学校の保護者・生徒へのアンケート
2月9日(木)	第5回	最終報告資料の確認、今後の取り組み、野球・バスケットボールの新規受皿クラブ立ち上げ確認

## 3. 実践研究校における取組について

### 3.1 実践研究校情報

① 実践研究校数	域内全6中学校のうち、2校が実践研究に参加
② 実践研究に取り組んだ部活動数	野球部(6部)、バスケットボール部(男子6部、女子6部)
③ 種目	野球、バスケットボール

#### ≪主な取組例(1)≫…宗像市立玄海中学校

① 運営主体	宗像ストレインベースボールクラブ		
② 種目	野球	③ 参加者数	19人
④ 活動日	土・日曜日	⑤ 活動場所	玄海中学校グラウンド
⑥ 指導者人数	4人	⑦ 謝金単価	1人あたり1,600円/時間
⑧ 指導者属性	宗像ストレインベースボールクラブの指導者		
⑨ 参加会費の有無・金額	徴収あり (1人あたり:5,000円/月額)		

#### ≪主な取組例(2)≫…宗像市立日の里中学校

① 運営主体	宗像バスケットボール教室		
② 種目	バスケットボール	③ 参加者数	191人
④ 活動日	日曜日	⑤ 活動場所	日の里中学校体育館
⑥ 指導者人数	12人	⑦ 謝金単価	1人あたり1,000円/時間
⑧ 指導者属性	福岡教育大学女子バスケットボール部員(宗像バスケットボール教室からの指導依頼)		
⑨ 参加会費の有無・金額	徴収無し		

### 3.2 参加者の声（生徒、保護者、教師、指導者等）

#### 【生徒の声】

- ・違う地域の人と関わることがよかった。
- ・指導者が多くて練習の幅が増えた。
- ・人数が増え野球がもう一度でき良かった。
- ・野球をやめると決めていたためもう少し早く決めて欲しかった。

#### 【保護者の声】

- ・違う地域の人と関わることがよかった。
- ・大会への参加ができた。
- ・指導者も熱心で充実した活動ができた。
- ・ストreinに参加することにより野球への取り組み方が変わった。
- ・学校とクラブどちらも指導してくれるコーチがいればよかった。
- ・野球未経験の子が中学から野球をやるにはハードルが高くなったのでは。
- ・部費についてあらかじめ関係者で決めておくべきでないか。
- ・道具の準備、保管場所など1からの事業のため金銭的援助があればよかった。
- ・地域活動への取り組みが急に決まり、中3の子にとっては中途半端な時間があった。

#### 【学校の声】

- ・ストreinと連携することにより練習がより充実したものになった。
- ・野球部顧問として練習につく時間が減り、業務の軽減につながった。
- ・ストreinは、複数の中学校からの生徒で構成。部活動とは違い、クラブ活動自体の中で他校の生徒と交流することで、刺激を受けることができ、生徒の成長を感じた。
- ・玄海中学校グラウンドの休日利用については、実際に利用する際は学校とストreinで直接やり取りを行ったが、大きなトラブルもなかった。

### 3.3 各実践研究校での取組を通じて挙げた課題や解決方法、取組において特に工夫した点

中学校で部活動が行われている中で、実践研究の活動場所を確保する際に、生徒数（部員数）や部活動数が少なかったりした学校を練習場所に選定した。野球については、野球部の部員数が少ない学校、バスケットボールについては、バレーボール部がない学校を市が学校に依頼をし、練習会場とした。

受皿となる地域クラブの創設と中学校部活動の取り組みはタイムラグがあることから、まずはスポーツ部門が先行して、受皿となる地域クラブ創設を進め、その推移を見て、学校教育部門での取り組みを企画して進めていくこととした。

## 4. 実践研究の成果と今後の課題

### 4.1 実践研究での検証から得た成果

本実践研究を通じて、「中学校運動部活動改革のロードマップ（スケジュール）・基本方針」「競技種目別の必要な受皿クラブ数」「受皿クラブ立ち上げスケジュール」「市担当部署の役割」を決定することができた。また、中学校部活動の実態調査をもとに、必要となる受皿クラブ数を最大で30クラブと算出することができた。

市担当部署の役割については以下のとおりする。

#### 【スポーツ部門】

- 受皿クラブを立ち上げ、一定期間運営をサポート
- 受皿クラブ運営に必要な競技団体のコーチ資格等助成制度を整備
- 中体連に代わる独自のスポーツ大会開催を支援
- 受皿クラブ活動を補完するためS & C（ストrengrs & コンディショニング）トレーニングを平日1～2回、中学校で実施
- 民間企業や大学等との連携（休日等の中学校への指導者派遣に向けて）

【学校教育部門】

- 宗像地区学校部活動ガイドラインの見直し
- 兼職兼業制度の見直し
- 令和7年度までの休日部活動の段階的な削減と状況把握及び是正指導
- 休日部活動が地域移行することへの教員周知と協力要請
- 休日部活動が地域移行することへの中学生や保護者、地域への周知活動
- 受皿クラブへの中学校施設開放促進

4.2 地域移行における今後の課題と対応

地域移行においては、教員や保護者への周知や説明を行い、本市の取り組む部活動改革について理解いただく必要がある。また、部活動の受皿クラブとなることから、現状、部活動が存続する中で、学校と調整を図りながら、確実に活動の場を確保する必要がある。

部活動の顧問、競技団体等の関係者と密に話をしながら、その中で要望等をお聞きし、スポーツ部門である行政がコーディネーターとしての役割を果たしながら、競技種目別にオーダーメイドでの受皿クラブの立ち上げを進める。

中学校運動部活動改革のロードマップ（スケジュール）・基本方針

運動部活動の地域移行に向けた実践研究について（宗像市）

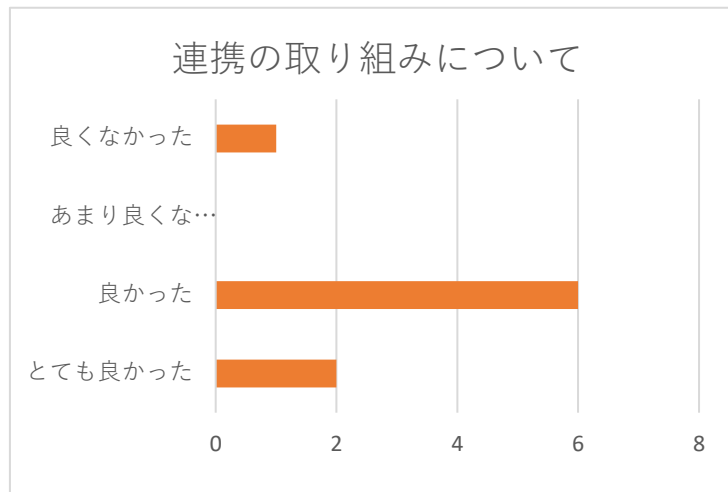
宗像市・宗像市教育委員会 部活動改革スケジュール（案）

	2022年度（R4）	2023年度（R5）	2024年度（R6）	2025年度（R7）	R8
宗像市 (文化スポーツ課)	令和7年度までに競技種目毎に必要な受皿クラブを計画的に創設し、円滑運営をサポートする付帯事業を整備				休日の運動部活動を完全に地域移行
	軟式野球、バスケットボール				
		その他の競技種目 団体競技（サッカー、バレーボール、ソフトボール） 個人競技（卓球、陸上、ソフトテニス、剣道、柔道）			
		休日の部活動の地域クラブ化を促進			
	平日の運動部活動の支援 (G A等から指導者を派遣し、体幹、コンディショニング、フィジカルなどの基礎トレーニング（S & Cトレーニング）を実施）				
	モデル事業	平日の中学校運動部活動での基礎トレーニングを本格導入 (受皿となる地域クラブの活動も補完)			
宗像市 教育委員会 (教育政策課)	平日の運動部活動は現状どおり継続し、令和7年度までの休日部活動を見直す				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○部活動地域移行方針の策定</li> <li>○実態調査の実施</li> <li>○教員への説明</li> <li>○保護者、指導者への周知 等</li> </ul>	休日部活動の地域移行 準備期間（教員現行） 土日の部活動は段階的に削減する			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>*従来どおり、部活動実施日は運動部活動の顧問に指導を依頼（休日は特別勤務手当あり）</li> <li>*外部指導者も活用（平日・休日ともに謝金あり）</li> <li>*R8を見据え、教員任意による地域クラブ立ち上げも可能</li> </ul>			

## 運動部地域移行に関するアンケート

Q1.玄海中学野球部と宗像ストレインベースボールクラブが連携した取り組みはいかがでしたか。(生徒)

とても良かった	2
良かった	6
あまり良くなかった	0
良くなかった	1
全体	9

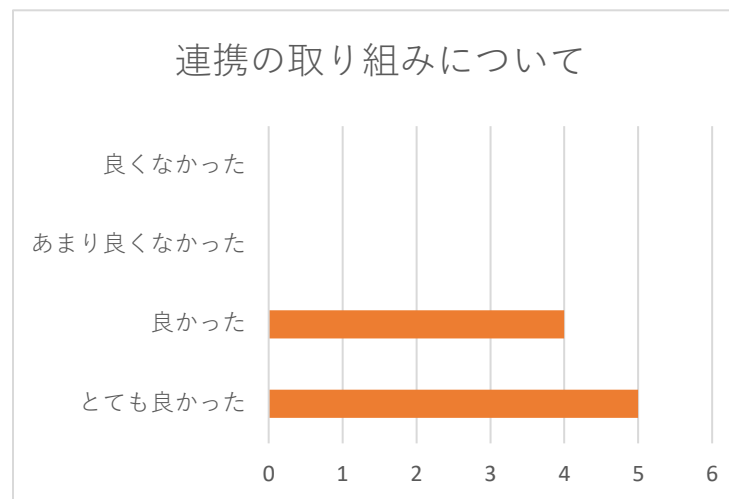


### 参加者の声

- ・違う地域の人と関わることがよかった。
- ・指導者が多くて練習の幅が増えた。
- ・人数が増え野球がもう一度でき良かった。
- ・子どもたちで話し合っていたことが無駄になった。
- ・子どもの意見も聞いてもらいたかった。
- ・野球をやめると決めていたためもう少し早く決めてほしかった。
- ・やめると決めていたが、ほぼ強制的に加入させられた。

Q1.玄海中学野球部と宗像ストレインベースボールクラブが連携した取り組みはいかがでしたか。(保護者)

とても良かった	5
良かった	4
あまり良くなかった	0
良くなかった	0
全体	9



#### 参加者の声

- ・違う地域の人と関わることがよかった。
- ・大会への参加ができた。
- ・指導者も熱心で充実した活動ができた。
- ・ストレインに参加することにより野球への取り組み方が変わった。
- ・学校とクラブどちらも指導してくれるコーチがいればよかった。
- ・野球未経験の子が中学から野球をやるにはハードルが高くなったのでは。
- ・部費についてあらかじめ関係者で決めておくべきでないか。
- ・道具の準備、保管場所など1からの事業のため金銭的援助があればよかった。
- ・地域活動への取り組みが急に決まり、中3の子にとっては中途半端な時間があった。

#### 顧問の声

- ・ストレインと連携することにより練習がより充実したものになった。
- ・野球部顧問として練習につく時間が減り、業務の軽減につながった。
- ・中体連とルールを共有しておけば金銭的負担をへらせたのではないか。
- ・学校の枠を超えるため生活指導の面に関して学校からの指導がやりづらい。